

ピカいち!!のまちづくり

林いさお通信



討議資料
No.9

9月議会報告 林いさお後援会

平成19年10月発行

近世開拓史資料館 建設中止が確定!

埼玉県が中止を示唆

急がれる代替案の検討

六月開会の埼玉県議会で、土屋県議が、計画が停滞している近世開拓史資料館について一般質問を行った。埼玉県は、財政的な理由等で計画の中止を示唆。

9月3日から開会の三芳町第5回定例会で、この件について三芳町の今後の対応について一般質問を行った。



近世開拓史資料館建設予定地 (上富)

近世開拓史資料館(仮称)は、県指定旧跡の「三富開拓地割遺跡」の歴史を学ぶ郷土学習の場、人と自然との共生を考える環境教育の場、そして三富開拓地割遺跡の保全の大切さを啓発する施設として、平成7年当時に計画されました。その後、埼玉県の財政的な理由で進展していませんでした。

土屋県議の一般質問を受けて、私も今後の町の対応について次のように尋ねました。

林 埼玉県教育長は、県議会で建設に至らなかった理由として「厳しい財政状態から計画は進展していない。今後、三富地割遺跡のガイダンス機能、デジタルセンター的な機能など幅広い活用方法について三芳町と検討していきたい。」と答弁している。

私自身も県の担当者と会い、状況を聞いてみると「地元の要望を尊重したい。」と述べ、地割遺跡資料館はもとより、物産展、サツマイモ資料館、公園等あらゆる可能性を示唆した。

すでに用地は埼玉県によって取得されているが、各自治体は、財務縮

減のため遊休地の処分を実施し始めている。事業を継続するか、代替案を検討するか選択が迫られている。早急に検討委員会の設置と上富地域の将来都市整備構想と併せて検討願いたい。

町長 住民の意向を把握しながら検討していきたい。

◆解説 埼玉県は、「県立博物館施設再編整備計画」で、平成18年度には、8館あった県立博物館を4グループに統合し、すでにある歴史資料館を来年度には管理委託する方針を決めている。

埼玉県は、三富地割遺跡を高く評価していること、すでに用地の取得が済んでいること、さらに今回の県の見解を鑑みると、地元住民の皆さんの意向を聞きながら、早急に建設中止の決断と代替案の提案が必要だと考えられます。

その他に、文化財保護法の改正に基づく「文化的景観」認定の要望や、当地をキーステーションにした「三富自然散歩道」の提案もさせていただきました。